

令和6年第2回市議会定例会が開催されるに当たり、市政の諸課題をはじめ提案いたしました議案について、その概要を御説明申し上げます。

まず、この度、本市市議会議員として25年の長きにわたり活躍してこられた山本貴美子議員が、全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から栄えある表彰を受けられました。市民を代表して心から敬意を表し、お祝い申し上げます。

次に、4期16年の長きにわたり福井県知事として活躍された栗田幸雄元知事が、先月17日に逝去されました。栗田元知事は、原子力行政において手腕を振るわれ、北陸新幹線の県内延伸等、高速交通網の整備促進にも御尽力をいただきました。その御功績を偲び、心から御冥福をお祈り申し上げます。

次に、職員の不祥事について申し上げます。

去る4月23日に、親睦会費及び遺留金を着服した本市職員を懲戒免職処分としました。本事案が市政の信頼を大きく損ねたことは誠に遺憾であり、市民の皆様に対しまして、改めてここに深くお詫び申し上げます。

今回の事案を重く受け止め、管理監督者であった関係者を厳正に処分するとともに、私自身につきましても、給料月額の10分の1を1か月間、また、福祉保健部担当の池澤副市長につきましては、給料月額の20分の1を1か月間減額することとし、条例改正案を今議会に提出いたしました。

今後は、二度とこのような事案を起こさないよう、公金等取扱マニュアルの見直しなど再発防止に万全を期すとともに、職員一人ひとりが常に全体の奉仕者として、強い自覚と緊張感を持って職務に専念するよう改めて周知徹底を図り、市民の皆様の信頼を一日も早く回復できるよう全力を尽くします。

次に、市立敦賀病院について申し上げます。

敦賀病院では、本年4月から野ツ俣和夫病院事業管理者を迎え、新たな体制がスタートしました。

医療を取り巻く環境は、人材確保や働き方改革への対応など多くの課題を抱えています。敦賀病院においても経営を含め厳しい状況の中にありますが、病院理念として掲げる「地域住民の健康をささえ、信頼され、温もりのある」病院を目指し、新事業管理者とともに地域医療の充実に取り

組みます。

次に、地域サポート職員制度について申し上げます。

以前より導入を検討してきた地域サポート職員制度については、先月28日に開催されました敦賀市区長連合会総会の場で本制度についての説明を行い、今月から活動をスタートさせました。まずは、この制度に対する理解促進や各地区で抱える課題を把握するところから始めたいと考えています。今後、地区からの要望と職員の負担とのバランスにも配慮し、徐々に制度内容の充実を図っていく予定です。

地区と行政のより良い連携の方法や顔の見える関係構築に向けて、引き続き取り組めます。

それでは、当面する市政の課題とその対応について申し上げます。

まず、北陸新幹線敦賀開業と新たなまちづくり体制についてです。

新幹線開業日となった3月16日から約2か月半が経過しました。

開業を記念して2日間にわたり開催された「つるが街波祭」には主催者発表で約43,000人の方が来場されました。また、開業後2か月間

に本市観光施設を訪れた人数についても、前年同時期との比較で約1.5倍と大幅に増加するなど、概ね好調なスタートを切ることができたと考えています。関係者の皆様、市民の皆様、そして何より敦賀にお越しいただいた皆様に、心から感謝を申し上げます。

こうした新幹線の開業効果による賑わいを一過性のものとせず、持続させることが大切です。

このような中、現在NHKで放送中の大河ドラマ「光る君へ」において、かつて本市に置かれていたとされる迎賓館「松原客館」が登場することから、「越前編」がスタートした5月26日には栗野公民館でパブリックビューイングを開催し、市民の皆さんと敦賀の歴史の奥深さを再認識しました。

この好機に、本市の魅力を全国に発信するため、今回の補正予算では大河ドラマに関連したトークショーの開催等に係る経費を計上しました。本年秋にスタートする北陸デスティネーションキャンペーンや、冬の風物詩「ミライエ」などとも連携し、新幹線開業後の更なる観光誘客に繋げていきたいと考えています。

一方、敦賀商工会議所、福井県及び本市で設立した「敦賀まちづくり協議会」においては、商業エリアや敦賀駅、氣比神宮周辺といった重点エリアにおける新幹線開業効果の最大化・持続化のためのアクションプログラム策定に向けた議論をスタートするとともに、まちづくり全般を民間視点でスピード感をもって取り組む、新たなまちづくり会社の設立について検討を進めることとしました。

これを受け、今年４月から福井県と本市の職員を港都つるが株式会社に派遣しています。また、本市のまちづくりと不可分な観光誘客を担う敦賀観光協会の意見も伺いながら、新たなまちづくり会社設立の検討を進めたいと考えています。

今後、専門家の意見も踏まえ検討を進めるため、所要額を今回の補正予算に計上しました。

次に、子育て環境の充実についてです。

仕事と子育ての両立等を支援する、子どもの一時預かり事業において、運営事業者を追加するための経費を今回の補正予算に計上しました。

また、より利用しやすい全天候型の施設へとリニューアル予定のこども園については、利用者アンケートやワークショップ等を経て令和5年度末に策定した基本計画に基づき、令和8年度春の供用開始を目指します。今回の補正予算では、設計及び施工に係る経費を計上しました。

さらに、子どもたちに安全・安心でおいしい給食を届ける新学校給食センターについては、令和9年度の供用開始を目指し、旧咸新小学校の校舎や体育館などの解体工事費等を計上しました。引き続き、整備に関する地元説明を行うとともに、搬入路整備等に係る用地取得についても並行して進めていきます。

次に、防災対策についてです。

本年1月に発生した能登半島地震を踏まえ、議会で御意見をいただいた津波ハザードマップについては、8月の全戸配布を目指し、現在、作成を進めています。配布後には、各地域において説明会を開催し、津波が起きた際の市民の皆さんの安全で迅速な避難行動に繋げていきます。

また、災害時に避難の情報はじめ様々な防災に関する情報を収集するツールとしてテレビ放送やインターネットが有効です。現在、災害時に地

地域の自主避難所として協力いただいている町内会館においては、そのテレビ放送やインターネットの回線利用料が、地区の大きな負担となっています。そのため、地域との意見交換や議会での議論を踏まえ、地域の自主防災力の向上を図るため、株式会社嶺南ケーブルネットワークと協力して、回線の初期費用や利用料に対する支援を行います。

木造住宅の耐震化については、これまでも耐震診断士の派遣や耐震改修費の一部助成を行ってきましたが、能登半島地震以降、住民の関心が高まっており、当初の予測を上回る申請希望があったことから、今回、予算を増額し対応したいと考えています。

国道8号のバイパス道路整備については、今年度、本市元比田から南越前町大谷までの5.1kmの区間が「大谷防災」として国により事業化されました。

本市と南越前町の間では、豪雨や大雪の影響で頻繁に通行止めが発生するため、バイパス道路の重要性を繰り返し国に訴えてきたところですが、今回の事業化でまた一步、経済活動の円滑化や安全安心なまちづくりの実現に近づくものと考えています。引き続き、関係機関と連携しながら、残る東浦区間の早期事業化と、敦賀防災及び大谷防災の早期整備を求めています。

きます。

次に、原子力政策についてです。

現在、国においてエネルギー基本計画の見直しに向けた議論が進められています。

次期エネルギー基本計画においては、「GX実現に向けた基本方針」で示した原子力政策の方向性を明確に位置付けるとともに、原子力利用に係る取組について、時間軸を含めて具体的に示すことが肝要と考えます。

将来に向けて、責任あるエネルギー政策、原子力政策が示されるよう、今後も全国の立地市町村と連携しながら、立地地域としての思いを伝えていきます。

ただいま申し上げました諸事業に加え、今回の補正予算案のうち主なものについて申し上げます。

まず、市庁舎に整備した自立型水素エネルギー供給システムについて、システムの一部である水素製造装置に不具合が見られ、修理の見通しが立たないことから、事業者との協議のうえ撤去することとします。今回の補



正予算では、整備時の財源とした国庫補助金等の返還に係る経費を、全額事業者負担として計上しました。

次に、町界町名地番整理についてです。

先月20日に岡山町1・2丁目区長から、区の総意として現在の岡山町1丁目及び岡山町2丁目の区域を新たな字区域とし、岡山町を登記上の大字名称とする旨の要望書が提出されました。この要望を受け、町の区域及び名称の新設に係る議案を提出するとともに、地番整理に係る委託料を今回の補正予算に計上しました。今後も住所表記における括弧書きの解消に取り組めます。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。

予防接種法の改正により、新型コロナのワクチン接種が、全額公費負担の特例臨時接種から、65歳以上の高齢者等を対象とした定期接種へと変更されることに伴い、必要となる経費を計上しました。

以上の結果、今回の補正予算案の規模は、一般会計で8億23万8千円、特別会計で652万3千円、企業会計で67万5千円となります。

また、予算案以外の議案につきましては、それぞれ記載の理由に基づき提案しました。

次に、本市に寄せられました寄附金品につきましては、別紙お手元に配布のとおりです。その御厚志に対し、市民を代表して厚く御礼を申し上げます。

以上、今回提案した予算案などについて御説明申し上げます。

何卒慎重に御審議をいただき、妥当なる議決を賜りますようお願い申し上げます。